

再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担当課:道路局 環境安全・防災課

担当課長名:水野 宏治

事業名	スマートICアクセス 市道(仮称)正力西1号線		事業区分	地方道	事業主体	東広島市
起終点	自:広島県東広島市八本松町正力 至:広島県東広島市八本松町正力				延長	0.4 km
事業概要	市道(仮称)正力西1号線は、(仮称)八本松スマートICの整備に合わせて整備する、1次アクセス道路で、現道の市道正力西1号線の改築(バイパス)事業である。					
R3年度事業化	一 年度都市計画決定 (一 年度変更)		R4年度用地着手		R5年度工事着手	
全体事業費	約5.5億円	事業進捗率	約76%	供用済延長	一 km	
計画交通量	3,900 台/日					
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 1.2 /5.6 億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 18 /18 億円	
	(参考) 3.1 4.9 [2%] 6.6 [1%]	12.3 %	(事業費: 1.1/5.6 億円 維持管理費: 0.03/0.03 億円 更新費: 0 / 0 億円)		(走行時間短縮便益: 14 /14 億円 走行経費減少便益: 2.4 /2.4 億円 交通事故減少便益: 1.6 /1.6 億円)	
感度分析	(残事業)	(残事業)	(事業全体)		(残事業)	
	15.0		交通量	B/C=2.8~3.4(±10%)	交通量	B/C=13.5~16.5(±10%)
	(参考) 23.8 [2%] 32.9 [1%]	55.0 %	事業費	B/C=3.1~3.2(±10%)	事業費	B/C=13.6~16.7(±10%)
			事業期間	B/C=3.1~3.1(±10%)	事業期間	B/C=14.6~15.0(±10%)
事業の効果等	<p>① 【交通分散による混雑緩和】八本松スマートIC整備により利用するICが分散され、慢性的な渋滞が発生している志和ICと、周辺道路の渋滞軽減効果が期待される。</p> <p>② 【企業誘致・留置】近接する磯松工業団地・飯田研究団地等の周辺企業の物流を効率化させ、新たな産業団地整備との相乗効果により、企業進出・雇用促進が期待される。</p> <p>③ 【観光振興の活性化】道の駅「西条のん太の酒蔵」をゲートウェイとした市内周遊観光客の増加が見込まれ、酒蔵通りを始めとした観光地活性化の効果が期待される。</p> <p>④ 【防災機能の強化】山陽自動車道と国道2号との連携が容易となり、災害時のリダンダンシーの強化や、道の駅の防災機能の充実が図られる。</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>地元である川上小学校区住民自治協議会から整備の要望がされている。</p>					
事業評価監視委員会の意見	<p>事業継続を妥当と認める。</p>					

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

地域経済の変化

- ・令和4年7月国道2号沿いに道の駅「西条のん太の酒蔵」開業(東広島市西条町寺家)
- ・本市に立地しているDRAM製造のマイクロン社においては5,000億の大型投資の発表や経済産業省による助成決定など、半導体産業を中心にさらなる大型投資が見込まれる。(吉川地区工業団地)

事業の進捗状況、残事業の内容等

用地進捗率100%、事業進捗率約76%
 残事業の内容 安全施設・区画線・道路標識等

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

早期完了を目指して事業を推進していく。

施設の構造や工法の変更等

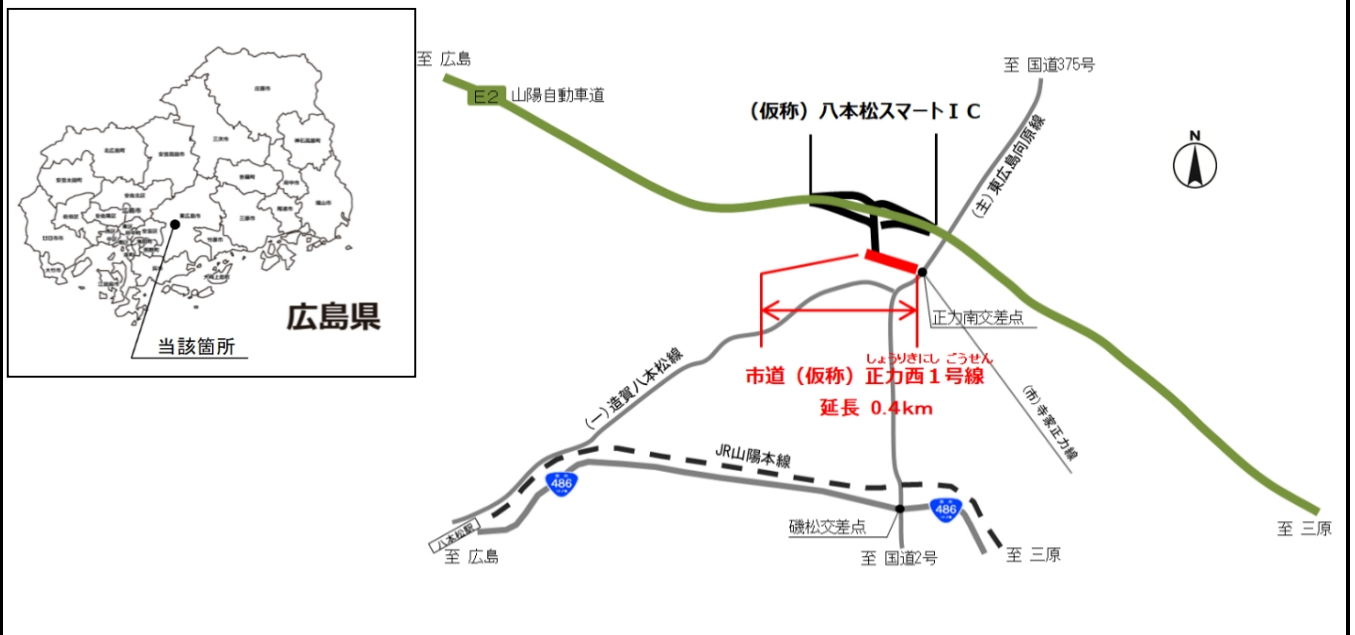
主要道路構造物の施工は完了しており、現在の構造形式及び事業手法について、代替案等の可能性は無いものと考えている。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性・重要性に変化は無く、費用便益分析結果においても、十分な投資効果が得られることが確認されているため。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したものの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)